

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 05 市民スポーツ活動の充実

主管課：生涯学習課

施策の目的

スポーツ活動の場や機会を充実させ、市民一人ひとりが自らスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活が営めることを目指します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、体育施設(市内大学の体育館を含む)	・市民一人ひとりが自らスポーツを行うことにより心身ともに健康な生活を営むことができるようにする。
----------------------	--

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
週1回以上スポーツ活動に親しむ成人市民割合	%	32.8	30.6	-	29.8	30.8	30.1	↗

施策の達成状況(25年度)

「週1回以上スポーツ活動に親しむ成人の市民割合」は、平成24年度に比べ平成25年度は0.7ポイント減少し、初期値と比べても2.7ポイント減少している。これは、人口減少や少子高齢化により種目によっては、愛好者が減少していることのほか、内閣府の調査によると、20歳代、30歳代の割合が「仕事や家事などが忙しく時間がない。」という理由で他の世代と比べると低い状況となっていることが一因と考える。

スポーツ施設の利用者数は減少の一途であるが、団体による利用は堅調なもの少子高齢化により各団体の会員数が減少していることが総体的な利用者の減少につながっている。

スポーツ・レクリエーション機会の充実に関しては、市民のニーズを捉え多種多様な事業を展開してきた結果、「スポーツ機会が充足していると思う市民割合」は、75%と高い水準である。

今後も社会体育施設の計画的な整備を進めるほか、市民が気軽にスポーツ活動を行う場の提供、幅広い年齢層を対象としたスポーツ教室や健康指導相談事業を展開し、市民がスポーツに親しむ機会が増えるよう努めていく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	278,970	275,531	283,651	278,908	297,671
事業費(千円)	260,712	257,396	265,590	260,868	280,092
人件費(千円)	18,258	18,135	18,061	18,040	17,579

基本事業

01 スポーツ・レクリエーション施設の充実

基本事業の目的

各種運動施設の整備とともに、市内大学との連携により、大学体育館の活用を図るなど、市民がスポーツ・レクリエーション活動を充分に行えるようにします。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、体育施設

スポーツ・レクリエーション活動の場がある。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
スポーツ施設利用者数(市内大学の体育館利用者を含む)	人	873,841	883,511	851,048	856,732	801,704	784,816	960,000
スポーツ施設整備の満足度	%	66.2	68.3	-	71.5	70.1	69.1	↗

基本事業の達成状況(25年度)

「スポーツ施設利用者数」は年々減少傾向にある。主な要因としては、少子高齢化に伴うスポーツ少年団員と一般のスポーツ団体の会員の減少が挙げられる。
 「スポーツ施設整備満足度」についても、平成23年度をピークに減少に転じている。これは屋内・屋外施設の老朽化などによるものと思われることから、今後は施設の耐震化を含めた適切な維持管理を行い、市民にスポーツ活動の場を安全安心かつ快適に提供できるよう努めていく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	34,303	29,313	35,153	30,731	49,816
事業費(千円)	27,664	22,865	29,133	24,719	43,956
人件費(千円)	6,639	6,448	6,020	6,012	5,860

基本事業の目的

スポーツ団体の育成や地域での活動を推進することによって、誰もが自分にあったスポーツ・レクリエーション活動に参加できるようにします。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民	誰もが自分にあったスポーツ・レクリエーション活動の参加機会がある。
----	-----------------------------------

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
スポーツ・レクリエーション講座の充足度	講座・大会	44	57	54	53	60	63	45
スポーツ機会が充足していると思う市民割合	%	71.9	72.4	-	74.3	76.5	75.0	↗

基本事業の達成状況(25年度)

「スポーツ・レクリエーション講座の充足度」は、指定管理者や関係団体との連携により目標値を大きく上回った。「スポーツ機会が充足していると思う市民割合」は、前年度に比べ1.5ポイント減少しているものの、75%前後の水準を維持している。幅広い年齢層を対象とした健康や体力づくりの維持管理を主眼とした各種スポーツ教室や健康体力づくり相談などを開講するほか、市民の誰もが気軽に楽しく参加できるスポーツ大会の開催や軽スポーツの出前事業を展開してきた結果、市民がスポーツに触れ、親しみ、その活動が習慣化されてきたと考えられる。また、新たに総合型地域スポーツクラブが設立された地区もあり、地域でのスポーツ活動が活発になる環境が整いつつある。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	237,249	237,528	239,437	239,149	239,458
事業費(千円)	228,534	229,065	230,207	229,930	230,474
人件費(千円)	8,715	8,463	9,230	9,219	8,984